

星城と名経大高蔵 初戦突破 女子

高校バスケ ウインターカップ

全国高校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）が23日、東京都内で開幕した。県勢は男子1校、女子3校が出場。初日は女子の星城（豊明市）と名経大高蔵（名古屋市）が1回戦を突破した。

星城は星槎国際湘南（神奈川県）に序盤はリードさ

れるも第3クオーターで逆転し70-63で勝った。萩野瑠七主将（3年）が11得点、11リバウンドの活躍。

名経大高蔵は聖カタリナ学

園（愛媛県）に47-45で競り勝った。

24日は、男子の中部大第1（日進市）が東山（京都）との1回戦に臨む。女子は第1シードの桜花学園（名古屋市）が柴田学園大

24日は、男子の中部大第1（日進市）が東山（京都）との1回戦に臨む。女子は第1シードの桜花学園（名古屋市）が柴田学園大

24日は、男子の中部大第1（日進市）が東山（京都）との1回戦に臨む。女子は第1シードの桜花学園（名古屋市）が柴田学園大



名経大高蔵 最終盤に逆転勝ち

第4クオーター終盤、関口咲葉（さわ）選手（2年）の3点シュートなどで逆転した。関口選手は「打たなきや入らない」と言つてやられた。やるしかないと思つた」と振り返った。

桜花学園、安城学園。

屈指の強豪校を前に、県予選で涙をのみ続けてきた。ライバル校ともう1つ争うべき存在として、3年ぶり出場の名経大高蔵は最終盤に逆転勝ちした。

かみしめて、大舞台を駆け回った。36年ぶり出場の名経大高蔵は最終盤に逆転勝ちした。

8年連続出場の名門聖カタリナ学園を中盤まで27-24とリード。だが、チーム最多の11得点をあげていた小川詩織選手（2年）がショート時にひざを負傷して退場した。コートが静まる中、竹田虹香（ななこ）主将（3年）は顔を上げた。「自分たちがやると信じた」

よつやくたどり着いた喜びを

得点源を失い、なかなか点数

を積み上げられない展開。ドリ

ブルを少なく、バスの数を増や

して相手をゆさぶった。さらに

自慢の守備で粘つた。劣勢に転じ、なおもう点差に広げられた



竹田主将「自分たちはやると信じた」

聖カタリナ学園（愛媛）—名経大高蔵 第1クオーター、ドリブルで攻め上がる名経大高蔵の竹田主将（京王アリーナTOKYOで）

（加藤社一郎）